

～夢と希望と笑顔あふれる新生小学校～



しんせい

<https://www.tachikawa-edu.jp/es18/>

メール：tachikawaes18@koumu-tachikawa.jp

特別号-1

令和8年3月16日
立川市立新生小学校
校長 千葉 貴樹
立川市富士見町6-69-1
TEL 042-524-3148
FAX 042-529-0993

学力の伸びが見られてきています！！ —学校確認テストのまとめから—

～「見つめ 気づき かかわって つなげる」学校経営の推進～

校長 千葉 貴樹



今年度、本校では「課題解決力」の向上に向けて、ICT活用の推進等に重点を置き、様々な授業改善を進めてまいりました。

その結果、子どもたちに学力の伸びが見られてきています。

その状況について、各ご家庭の私費会計でご購入いただいた、国語の「学力確認テスト」の結果を基に、以下の通り、まとめましたので、お知らせします。

1 同テストのまとめを行うにあたって

まとめを行うにあたって、大切にすることは以下の6点です。

(1) 次のキーセンテンスを着眼点にしています。

- 同一集団の経年比較（昨年度と今年度の状況）から、成長の過程を把握
- 目標値（達成率）に加え、全国平均も参考
- 意識調査とも関連させて分析
- プラス思考でのまとめ
- 成果を中心とした全体への活用
- 個々の学年・担任に即した課題の分析・活用

(2) 教員一人一人の授業改善の目標設定や全教員で行う授業研究に活かしていきます。

(3) 校内授業研究や学力向上、ICT活用推進等に関連する分掌の長、又は学年主任はそれぞれの分掌の改善・充実に活用していきます。

(4) 学校評価や来年度の学校経営計画に活かしていきます。

(5) 今回のまとめは、一つの見方・考え方です。今後、個々の教員が行うまとめも活かして、「デジタルを活用した、子どもたちの学力向上に資する授業改善」をさらに推進します。

(6) 保護者・地域の方以外に、学校運営協議会の委員にもお知らせします。

2 分析及びそれに基づくまとめ

分析したことを基にして、以下の4点からまとめをしました。

まとめ-1

- ◆第2学年以上における国語全体の平均正答率を、同一集団の経年比較（以下、同比較という）をしたところ、4つの学年（以下、向上した学年という）でプラスの変容が見られました。
 - ◆向上した学年に着目すると、学習領域では「話すこと・聞くこと」と「読むこと」が、プラスの変容をしている傾向があります。
- ⇒今後も、デジタル教科や協働学習支援ツール等のICTを活用して、「読むこと」や「話すこと・聞くこと」を重視して学習を展開していきます。

まとめ-2

- ◆経年比較による、全校的な傾向として、記述式問題等で無回答が減少し、誤回答でも惜しい誤答がさらに増え、自分で何とか解決しようとする様子が昨年度以上に見られました。
- ◆高学年（4～6学年）における、「思考・判断・表現」と「活用力」の同比較では、プラスの変容が見られました。
- ◆昨年度「主体的に学習に取り組む態度」に設定されていた問題もプラスの変容が見られました。
- ◆また、同学年では、別の意識調査（今年度4月と12月実施）で、自己効力感（学習への自信）が、0.2～4ポイント向上するなど、プラスの変容が見られています。（学校だより1月号参照）

まとめ-2 (続き)

⇒「頑張れば、できないこともできそうだ」という気持ちを高めながら、「思考・判断・表現力」を高めることにつながると、国語全体の学力を向上させることができたので、引き続き、主体的に考えたり表現したりする「子どもたちに委ねる学び・授業づくり」を推進していきます。

まとめ-3

- ◆以下のような課題も把握できました。
 - ◆「書くこと」については、高学年以外の学年では、向上したとはいえません。
 - ◆子どもたちの学びが広がり深まってきた一方、自分たちの学びを記録しまとめ、次につなげる学習の重要性が、授業者も子どもも意識するようになってきました。
- ⇒国語の学習に抵抗感をもつことがないように、目的を明らかにして、子どもたちに書いて、又はデータを打ち込んでまとめる学習を重視していきます。
- ⇒デジタルの活用で生み出された時間を学習をまとめる時間に活用していきます。
- ⇒「振り返り」の時間として、学習したことを毎時間まとめ、学習の軌跡を把握し、次につなげていきます。
- ⇒「漢字・言語事項」「書くこと」については、家庭学習やAI機能を搭載したデジタルドリルの活用等を通して、楽しく学べるようにしていきます。

まとめ-4

- ◆本校が重視する「情報と情報



を関係付けて目的に応じて表現する事項」は、成果が昨年度以上に見られましたが、課題も見られます。

⇒今まで以上に、「比較関連付ける力」を重視し、「まとめ-3」を活かすとともに、以下の点に留意して、学習を展開していきます。

- 段落と段落、全体と部分を比較・関連させて、教材文の全体像や筆者の主張等に迫ること
- 叙述内容を比較・関連させる中で、自分の考えの根拠を明確にもたせるようにすること

3 おわりに

◆今回のまとめは、一つの見方・考え方によるもので、本校で重視して取り組んできたことと関連させながら、ポジティブ思考で成果と思われることを中心にまとめました。

◆大切なことは、今回の「学力確認テスト」の分析結果を一つの指標とし、各学年の子どもたちの状況に即して、「子どもたちの学力の向上に資する授業改善」をより一層推進していくことです。

◆立川市では来年度から全校で、新たな教育情報システムが本格始動します。

保護者の皆様にはもう既に、市内統一の欠席連絡システム（テトル）でご協力いただいておりますが、学習・授業面では、ミライシードが導入され、AIデジタルドリル（ドリルパーク）や授業支援ソフト（オクリンクプラス）などがあります。

本校独自に、先駆的に導入してきた協働学習支援ソフト（コラボノート）に替わるもので、これまでの経験を活かし、利活用していきます。

私費で購入いただいているデジタル教科書（国語）も含めた、様々なデジタルソフト・ツールも活用して、より一層、授業改善・学びの充実を推進してまいります。

◆なお、学力確認テストの一人一人の結果については、各ご家庭に個人票を、お子様を通して、通い袋に入れてお渡しします。

お子様一人一人の学力の状況を把握いただき、家庭学習に役立ててください。

◆また、紙ベースのドリルや、昨年度から導入している、AIデジタルドリルの活用等を通して、「漢字・言語事項」や「書くこと」についても楽しく家庭学習が行えますように、お力添えいただけましたら幸いです。

その際、以前に配布した本校作成「家庭学習の手引き」を参考にしてください。（今後随時、HPアップ・更新予定）

◆今後更に、子どもたちの学力向上に向けて、保護者の方々とも連携して進めてまいりますので、なにとぞ、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

本校の教育活動等についてご意見・ご感想等がありましたら、連絡帳や電話等でご連絡いただけましたら幸いです。よろしくお願いいたします。



